

令和元年度総合計画実施計画表

1. 基本情報									
事務事業名	学校運営支援事業						事業No.		
事業担当課	教育部 学校教育課		所属長	足立 正徳		担当者	伊藤 憲司		
事業区分	実施計画区分	該当	予算 小事業 名	学校運営支援事業					
	新規・継続・臨時区分	継続		平成たんば塾推進事業					
	会計区分	一般							
総合計画の位置づけ	まちづくり目標	①	【5】ふるさとに愛着と誇りをもった人づくりのまち						
		②							
	施策目標	①	5-1【学校・教育】学校・家庭・地域が一体となりふるさとに愛着を持った子どもを育てよう						
		②							
	施策の展開	①	②安心して学べる楽しい学校づくり		②				
		①	③学校・家庭・地域が一体となった「市民総がかりの教育」の推進		②				
根拠法令・個別計画等	教育基本法、学校教育法等								
事業期間	開始年度	16	年度	～	終了年度	令和元	年度		

2. 事業の概要					
対象(誰を、何を)	市内の小学校、中学校に在籍する児童、生徒				
実施目的 (ベストな状態(期待される効果))	・学ぶ喜びを体感し、学習意欲を高く持って、生涯を通して学び続けようとする力を身につける。 ・ふるさとに対する愛着や誇りをもち、地域づくりの将来の担い手として、互いに支え合い協力しながら主体的に行動する力を身につける。				
事業の概要 (具体的手段・全体計画)	・学校・家庭・地域が子どもの成長に関わる当事者として課題を共有しながら、子どもの学びをともに支える「市民総がかりの教育」を推進する。 ・ふるさと丹波への愛着や誇りをを持った児童生徒を育むよう、地域素材を活用した授業づくりを推進し、「たんばふるさと学」等に取り組む。また、「たんば型学校運営協議会」の設置・拡充を目指した取組を行う。 ・スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー等と連携し、日常生活の変化に気を配って、悩み等を積極的に受け止める教育相談体制を充実する。				
各年度の事業概略	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	・「たんばふるさと学」の理論研究 ・「ICT活用ハンドブック」の作成 ・学校運営協議会制度の研究	・「平成たんば塾」事業の推進 ・レンボー教室・教育相談室の運営 ・「私たちの丹波市」印刷配布 ・「ICT活用ハンドブック」の作成 ・「子どものネット利用に関する家庭ルールブック」の配布 ・「生徒会ネット宣言」の作成 ・学校運営協議会制度の導入準備	・「平成たんば塾」事業の推進 ・レンボー教室・教育相談室の運営 ・「ICT活用ハンドブック」の活用 ・たんば型学校運営協議会の設置	・「平成たんば塾」事業の推進 ・レンボー教室・教育相談室の運営 ・「ICT活用ハンドブック」の活用 ・たんば型学校運営協議会の設置拡大	・「たんばふるさと学」の充実 ・レンボー教室・教育相談室の運営 ・「私たちの丹波市」印刷配布 ・学校運営協議会の設置拡大(全小学校に設置) ・スクールソーシャルワーカーの全中学校配置
令和元年度事業 及び積算内容	講師謝金 30千円、委員謝金 435千円、謝礼金 973千円、普通旅費 86千円、消耗品費 300千円、印刷製本費 37千円、修繕料 10千円、その他手数料 44千円、通行料及び駐車料 120千円、自動車借上料 1,980千円、会場借上料 238千円				
コスト(千円)	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額
総事業費A+C+E	33,266	33,251	29,677	31,966	35,272
直接事業費A	4,266	5,651	3,793	6,082	9,522
職員従事者数(人・年)B	2.50	2.20	2.09	2.09	2.10
人件費C=B×7,500千円	20,000	17,600	15,884	15,884	15,750
非常勤職員従事者数(人・年)D	4.50	5.00	5.00	5.00	5.00
人件費E=D×2,000千円	9,000	10,000	10,000	10,000	10,000
特定財源	0	801	800	640	0
国・県支出金	0	801	800	640	0
借入金(地方債)	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他特財	0	0	0	0	0
一般財源	33,266	32,450	28,877	31,326	35,272

3. 指標等の進捗管理									
目標達成状況	指標名		単位	説明・算定式	H27目標 H27実績	H28目標 H28実績	H29目標 H29実績	H30目標 H30実績	R1目標 R1実績
	成果	地域人材を活用した授業を実施した学校の割合	%	小学校6回以上、中学校3回以上実施した学校の割合	100 100	100 100	100 100	100 100	100
	成果	住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合	%	全国学力学習状況調査学校質問紙(小6と中3の平均値)	80 74	80 78	80 78	80 74	80
	成果	授業中にICT機器を活用して指導できる教員の割合	%	文科省「学校における教育の情報化の実態に関する調査」	84 91	88 90	90 90	92 85	95

令和元年度総合計画実施計画表

1. 基本情報										
事務事業名		生きる力育成事業						事業No.		
事業担当課		教育部 学校教育課		所属長	足立 正徳		担当者	高見 俊成	平瀬 憲利	
事業区分		実施計画区分	該当	予算 小事業 名	生きる力育成事業			自然学校推進事業		
		新規・継続・臨時区分	継続		いじめ防止対策事業			環境体験事業		
		会計区分	一般					トライやる・ウィーク推進事業		
総合計画の位置づけ		まちづくり目標	①	【5】ふるさとに愛着と誇りをもった人づくりのまち						
			②							
		施策目標	①	5-1【学校・教育】学校・家庭・地域が一体となりふるさとに愛着を持った子どもを育てよう						
			②							
		施策の展開	①	②安心して学べる楽しい学校づくり		②				
			①	⑤豊かな心と健やかな身体づくりの推進		②				
根拠法令・個別計画等		教育基本法、学校教育法等								
事業期間		開始年度	16	年度	～	終了年度	令和元	年度		

2. 事業の概要					
対象(誰を、何を)	市内の小学校、中学校に在籍する児童生徒				
実施目的 ベストな状態(期待される効果)	・自然や地域社会の中での体験活動を通して、豊かな感性や思いやりの心、公共心、勤労観等を身につける。 ・一人ひとりの教育的ニーズを踏まえ、きめ細やかで適切な教育的支援が受けられる。				
事業の概要 (具体的手段・全体計画)	・環境体験事業(小3)、自然学校(小5)、トライやる・ウィーク(中2)等の体験活動を行う。 ・学校における特別支援教育体制の充実に向けた取組を行う。 ・人とつながる命の講演会を児童会生徒会で企画運営する。 ・いじめ・不登校対策として、いじめ・暴力ゼロサミットの実施、ポスター・標語の募集等、児童生徒の実態調査に応じた取組を展開する。また、不登校の未然防止に向け、組織で対応する校内体制を構築する。				
各年度の事業概略	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	・環境体験事業 ・自然学校 ・トライやる・ウィーク ・いじめ・暴力ゼロサミット ・人とつながる命の講演会 ・JFAこころのプロジェクト「夢の教室」	・環境体験事業 ・自然学校 ・トライやる・ウィーク ・いじめ・暴力ゼロサミット ・人とつながる命の講演会 ・JFAこころのプロジェクト「夢の教室」 ・学校支援コーディネーター ・復興まちづくり事業	・環境体験事業 ・自然学校 ・トライやる・ウィーク ・いじめ・暴力ゼロサミット ・人とつながる命の講演会 ・JFAこころのプロジェクト「夢の教室」 ・学校支援コーディネーター ・復興まちづくり事業	・環境体験事業 ・自然学校 ・トライやる・ウィーク ・いじめ・暴力ゼロサミット ・人とつながる命の講演会 ・JFAこころのプロジェクト「夢の教室」 ・学校支援コーディネーター	・環境体験事業 ・自然学校 ・トライやる・ウィーク ・いじめ・暴力防止フォーラム ・人とつながる命の講演会 ・学校支援コーディネーター ・いじめ相談アプリの導入
令和元年度事業 及び積算内容	【生きる力育成事業】講師謝金 525千円、委員謝金 60千円、謝礼金 1,629千円、費用弁償 893千円、普通旅費 60千円、消耗品費 245千円、損害・傷害保険料 35千円、通送料及び駐車料 277千円、自動車借上料 3,360千円、学習用機材借上料 3千円、会場借上料 88千円、入場料 115千円 【いじめ防止対策事業】いじめ問題対策連絡協議会委員報酬 68千円、講師謝金 480千円、謝礼金 60千円、費用弁償 12千円、印刷製本費 150千円、講師派遣委託料 1,759千円 【自然学校推進事業】謝礼金 3,365千円、費用弁償 118千円、消耗品費 858千円、通信運搬費(郵送料) 45千円、クリーニング料 51千円、損害・傷害保険料 9千円、通送料及び駐車料 49千円、自動車借上料 3,655千円、学習用機材借上料 255千円、会場借上料 3,961千円、カヌー教室等受講料 222千円、要保護・準要保護児童食糧費 481千円 【環境体験事業】謝礼金 128千円、消耗品費 1,555千円、自動車借上料 51千円 【トライやる・ウィーク推進事業】委員謝金 262千円、謝礼金 25千円、費用弁償 40千円、消耗品費 931千円、印刷製本費 835千円、通信運搬費 1千円、通信運搬費(郵送料) 129千円、広告料 54千円、クリーニング料 6千円、検査料 151千円、損害・傷害保険料 518千円、自動車借上料 62千円、会場借上料 6千円、公共交通機関使用料 180千円				
コスト(千円)	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額
総事業費A+C+E	68,861	58,366	67,362	68,022	66,120
直接事業費A	30,861	29,406	27,390	27,822	26,370
職員従事者数(人・年)B	4.00	2.62	4.47	4.50	4.50
人件費C=B×7,500千円	32,000	20,960	33,972	34,200	33,750
非常勤職員従事者数(人・年)D	3.00	4.00	3.00	3.00	3.00
人件費E=D×2,000千円	6,000	8,000	6,000	6,000	6,000
特定財源	13,092	11,542	11,378	12,744	10,907
国・県支出金	12,192	11,542	11,378	12,744	10,907
借入金(地方債)	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他特財	900	0	0	0	0
一般財源	55,769	46,824	55,984	55,278	55,213

3. 指標等の進捗管理									
目標達成状況	指標名		単位	説明・算定式	H27目標 H27実績	H28目標 H28実績	H29目標 H29実績	H30目標 H30実績	R1目標 R1実績
	成果	いじめを見つけたとき「何もしない」と回答した児童生徒の割合	%	丹波市いじめにかかる実態調査より ※いじめを見たときどうしますか。	0	0	0	0	0
					5	4	4	3	
	成果	中学校における不登校生徒の出現率	%	3月末の全生徒数のうちの不登校生徒数の割合	3.22	2.58	2.37	2.18	2.00
					3.4	2.8	3.2	3.1	
	成果	特別な支援を必要とする児童生徒の小中学校における個別の指導計画作成率	%	特別支援にかかる総合的な支援体制整備調査より	100	100	100	100	100
					88	89	98	99	
成果	学校の授業において、ゲストティーチャー等、指導に携わった地域住民の人数	人	地域連携支援事業とそれ以外の事業で地域住民が指導に携わった人数	1100 1689	1100 1580	1100 1574	1100 2022	1100	

総合計画実施計画表

事務事業名	教職員人事・服務事務							事業No.	
事業担当課	教育部 学校教育課			所属長	足立 正徳	担当者	梅津 隆		
事業区分	実施計画区分	該当	予算 小事業 名	職員健康管理事業					
	新規・継続・臨時区分	継続							
	会計区分	一般							
総合計画の位置づけ	まちづくり目標	①	【5】ふるさとに愛着と誇りをもった人づくりのまち						
		②							
	施策目標	①	5-1【学校・教育】学校・家庭・地域が一体となりふるさとに愛着を持った子どもを育てよう						
		②							
	施策の展開	①					②		
		①					②		
根拠法令・個別計画等	学校教育法、教育公務員特例法、学校保健安全法等								
事業期間	開始年度	16	年度	～	終了年度	無期	年度		

対象(誰を、何を)	市立小・中学校の職員				
実施目的 (ベストな状態・期待される効果)	教職員の適正な人事配置、服務規律の確保及び健康の保持に努め、質の高い教育を支える教育環境の整備・充実を図る。				
事業の概要 (具体的手段・全体計画)	・2回の学校長人事ヒアリングにより、学校のニーズに応じた適正な人事配置を行う。 ・健全な学校運営のため、7月、12月の校長会を通じ服務規律を啓発する。 ・メンタルヘルス事業等を紹介し、心身ともに健全な教職員の健康維持を支援する。				
各年度の事業概略	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	・人事管理 ・学級編成 ・服務監督 ・健康管理 ・教員免許関係 ・校長会	・人事管理 ・学級編成 ・服務監督 ・健康管理 ・教員免許関係 ・校長会	・人事管理 ・学級編成 ・服務監督 ・健康管理 ・教員免許関係 ・校長会	・人事管理 ・学級編成 ・服務監督 ・健康管理 ・教員免許関係 ・校長会	・人事管理 ・学級編成 ・服務監督 ・健康管理 ・教員免許関係 ・校長会
令和元年度事業及び積算内容	謝礼金 210千円、費用弁償 1千円、その他手数料 80千円、職員健康診断委託料 3,369千円				
コスト(千円)	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額
総事業費A+C+E	28,120	26,789	27,651	27,438	30,939
直接事業費A	4,120	4,789	3,231	2,638	6,439
職員従事者数(人・年)B	3.00	2.50	2.95	3.00	3.00
人件費C=B×7,500千円	24,000	20,000	22,420	22,800	22,500
非常勤職員従事者数(人・年)D	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00
人件費E=D×2,000千円	0	2,000	2,000	2,000	2,000
特定財源	0	0	0	0	0
国・県支出金	0	0	0	0	0
借入金(地方債)	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他特財	0	0	0	0	0
一般財源	28,120	26,789	27,651	27,438	30,939

目標達成状況	指標名		単位	説明・算定式	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標	R1目標
					H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績
	成果	長期病気(精神疾患)休暇取得者の年度内復帰率	%	年度内復帰者/精神疾患による3カ月以上の病気休暇取得者	100	100	100	100	100
					20.0	16.7	25	0	
	成果	代替教員等の配置	%	1ヶ月以内に配置 配置教職員数/要配置教職員数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
					100.0	95.5	97.6	95.1	
	成果	100時間以上の超過勤務者が在籍する学校数	校	月100時間以上の超過勤務者が1カ月でもあった学校の数	0	0	0	0	0
					4	3	9	14	

令和元年度総合計画実施計画表

1. 基本情報									
事務事業名	学力向上事業						事業No.		
事業担当課	教育部 学校教育課			所属長	足立 正徳	担当者	西垣 雅文	伊藤 憲司	
事業区分	実施計画区分	該当	予算 小事業 名	学力向上事業					
	新規・継続・臨時区分	継続							
	会計区分	一般							
総合計画の位置づけ	まちづくり目標	①	【5】ふるさとに愛着と誇りをもった人づくりのまち						
		②							
	施策目標	①	5-1【学校・教育】学校・家庭・地域が一体となりふるさとに愛着を持った子どもを育てよう						
		②							
	施策の展開	①	①「わかる・できる・のびる」授業の実現による「確かな学力」の確立				②		
		①					②		
根拠法令・個別計画等									
事業期間	開始年度	16	年度	～	終了年度	無期	年度		

2. 事業の概要					
対象(誰を、何を)	市内の小学校、中学校に在籍する児童、生徒				
実施目的 ベストな状態(期待される効果)	子どもたちが変化の激しい時代を主体的に生きるために、一人ひとりが将来にわたって学ぶ意欲を持つようにする。基礎的・基本的な知識・技能の習得とともに、思考力・判断力・表現力が備わり、学習意欲を持って取り組めるよう学習習慣を確立することで、確かな学力を身につける。				
事業の概要 (具体的手段・全体計画)	・学力向上に向けてPDCAサイクルを確立するとともに、実践研究を通じた授業改善を図る。また指導主事は、その方法について指導助言する。 ・家庭学習の習慣化に向けて、PTAと連携して作成したパンフレットの活用を図り、啓発を進める。 ・英語力向上に向けて、実態把握を行い、デジタル教科書を活用し、より効果的な指導を行う。また、コミュニケーション能力の素地を養うため、認定こども園への外国語指導助手(ALT)派遣を促進する。				
各年度の事業概略	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	・学習定着度調査 ・英語力調査 ・英語スピーチコンテスト ・イングリッシュパー ティー ・スクールサポーター ・授業改善推進教員配 置	・学習定着度調査 ・英語力調査 ・英語スピーチコンテスト ・スクールサポーター ・学力向上推進会議 ・活用力を問う問題集整 備	・学習定着度調査 ・英語力調査 ・英語スピーチコンテスト ・学生スクールサポー ター ・学力向上推進会議 ・学力向上推進教員 ・学力向上支援員	・学習定着度調査 ・英語力調査 ・英語スピーチコンテスト ・英語検定補助 ・英語検定補助 ・学生スクールサポー ター ・学力向上推進会議 ・学力向上推進教員 ・学力向上支援員	・学習定着度調査 ・英語スピーチコンテスト ・英語検定補助 ・学力向上推進会議 ・学力向上推進教員 ・学力向上支援員
令和元年度事業 及び積算内容	講師謝金 3,522千円、謝礼金 105千円、費用弁償 64千円、消耗品費 47千円、印刷製本費 120千円、調査委託料 3,042千円、英語検定負担金 1,020千円				
コスト(千円)	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額
総事業費A+C+E	34,163	27,750	30,170	28,807	32,176
直接事業費A	10,163	7,670	5,622	4,487	8,176
職員従事者数(人・年)B	3.00	2.51	3.23	3.20	3.20
人件費C=B×7,500千円	24,000	20,080	24,548	24,320	24,000
非常勤職員従事者数(人・年)D	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費E=D×2,000千円	0	0	0	0	0
特定財源	0	2,044	2,400	2,430	2,700
国・県支出金	0	2,044	2,400	2,430	2,700
借入金(地方債)	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他特財	0	0	0	0	0
一般財源	34,163	25,706	27,770	26,377	29,476

3. 指標等の進捗管理									
目標達成状況	指標名		単位	説明・算定式	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標	R1目標
					H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績
	成果	授業がわかると答えた児童の割合 (国語算数小中合算平均)	%	全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙による 小学国語、小学算数、中学国語、中学数学それ ぞれの肯定的回答率の平均値	78	79	79	79	80
					77	73	77	75	
	成果	普段1日あたり、10分以上読書している児童 (小学6年生)の割合	%	全国学力・学習状況調査児童質問紙による「10分 以上」を選択回答している児童の割合	61	65	66	67	68
					54	58	52	55	
	成果	普段1日あたり、10分以上読書している生徒 (中学3年生)の割合	%	全国学力・学習状況調査児童質問紙による「10分 以上」を選択回答している生徒の割合	53	56	57	58	59
					55	52	50	53	
	成果	外国語活動において自信を持って 指導できる教員の割合	%	年度末教職員調査による	80	85	90	95	100
					86	87	89	89	

令和元年度総合計画実施計画表

1. 基本情報									
事務事業名		学校保健体育振興事業					事業No.		
事業担当課		教育部 学事課		所属長	前川孝之	担当者	服部 昇		酒井 麻世
事業区分		実施計画区分	該当	予算 小事業 名	学校保健体育振興事業				
		新規・継続・臨時区分	継続						
		会計区分	一般						
総合計画の位置づけ		まちづくり目標	①	【5】ふるさとに愛着と誇りをもった人づくりのまち					
			②						
		施策目標	①	5-1【学校・教育】学校・家庭・地域が一体となりふるさとに愛着を持った子どもを育てよう					
			②						
		施策の展開	①	④子どもの成長と学びの連続性を踏まえた教育の推進			②		
			①				②		
根拠法令・個別計画等		学校保健安全法、丹波市中学校体育連盟補助金交付要綱、丹波市結核対策委員会設置要綱、兵庫県学校保健主事会会則、丹波地区養護教諭研究協議会会則、独立行政法人日本スポーツ振興法							
事業期間		開始年度	16	年度	～	終了年度	無期	年度	

2. 事業の概要					
対象(誰を、何を)	丹波市内の小・中学校並びに幼稚園に通う児童・生徒・園児				
実施目的 ベストな状態(期待される効果)	健康診断等の実施及び学習の場の環境点検の実施等により園児・児童・生徒等の健康保持増進を図る。				
事業の概要 (具体的手段・全体計画)	・園児・児童・生徒の健康診断の実施 ・薬剤師による夏季・冬季の学校巡回指導 ・丹波市結核対策委員会・丹波市学校保健会の開催 ・学校医・幼稚園医に対する報酬支払 ・事故に係る災害共済給付金の支給 ・補助金、負担金の支払				
各年度の事業概略	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	園児・児童・生徒の健康診断の実施 薬剤師による夏季・冬季の学校巡回指導 丹波市結核対策委員会の開催 学校医・幼稚園医に対する報酬支払 事故に係る災害共済給付金の支給 補助金、負担金の支払	園児・児童・生徒の健康診断の実施 薬剤師による夏季・冬季の学校巡回指導 丹波市結核対策委員会の開催 学校医・幼稚園医に対する報酬支払 事故に係る災害共済給付金の支給 補助金、負担金の支払	園児・児童・生徒の健康診断の実施 薬剤師による夏季・冬季の学校巡回指導 丹波市結核対策委員会の開催 学校医・幼稚園医に対する報酬支払 事故に係る災害共済給付金の支給 補助金、負担金の支払	園児・児童・生徒の健康診断の実施 薬剤師による夏季・冬季の学校巡回指導 丹波市結核対策委員会の開催 学校医・幼稚園医に対する報酬支払 事故に係る災害共済給付金の支給 補助金、負担金の支払	児童・生徒の健康診断の実施 薬剤師による夏季・冬季の学校巡回指導 丹波市結核対策委員会の開催 学校医に対する報酬支払 事故に係る災害共済給付金の支給 補助金、負担金の支払
令和元年度事業及び積算内容	・児童・生徒の健康診断の実施 ・薬剤師による夏季・冬季の学校巡回指導 ・丹波市結核対策委員会・丹波市学校保健会の開催 ・学校医に対する報酬支払 ・事故に係る災害共済給付金の支給 ・補助金、負担金の支払				
コスト(千円)		予算額	予算額	予算額	予算額
総事業費A+C+E	42,444	40,868	39,492	37,527	39,169
直接事業費A	36,364	34,788	33,944	31,979	31,819
職員従事者数(人・年)B	0.76	0.76	0.73	0.73	0.98
人件費C=B×7,500千円	6,080	6,080	5,548	5,548	7,350
非常勤職員従事者数(人・年)D	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費E=D×2,000千円	0	0	0	0	0
特定財源	2,258	2,155	2,111	2,055	1,978
国・県支出金	0	0	0	0	0
借入金(地方債)	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他特財	2,258	2,155	2,111	2,055	1,978
一般財源	40,186	38,713	37,381	35,472	37,191

3. 指標等の進捗管理									
目標達成状況	指標名		単位	説明・算定式	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標	R1目標
					H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績
	成果	災害給付件数	件	学校管理下、通学時等による怪我事故による日本スポーツ振興センター災害給付件数	750.0	750.0	750.0	750.0	700.0
					545.0	581.0	594.0	619.0	
	活動	学校保健会研修会参加者数	人	学校保健会研修会参加者数	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
					58.0	53.0	64.0	73.0	
	活動	健康診断受診率	%	健康診断受診者/在籍児童生徒	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
					100.0	100.0	100.0	100.0	
	成果	健全歯者率	%	むし歯のないもの /健診受診者(児童・生徒)	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
					49.4	51.0	53.0	52.0	

令和元年度総合計画実施計画表

事務事業名	小中学校教育振興事業						事業No.	
事業担当課	教育部 学事課			所属長	前川 孝之	担当者	服部 昇	小玉 文奈
事業区分	実施計画区分	該当	予算 小事業 名	教育振興事業				
	新規・継続・臨時区分	継続						
	会計区分	一般						
総合計画の位置づけ	まちづくり目標	①	【5】ふるさとに愛着と誇りをもった人づくりのまち					
		②						
	施策目標	①	5-1【学校・教育】学校・家庭・地域が一体となりふるさとに愛着を持った子どもを育てよう					
		②						
	施策の展開	①	①「わかる・できる・のびる」授業の実現による「確かな学力」の確立				②	
①		②安心して学べる楽しい学校づくり				②		
根拠法令・個別計画等	学校教育法、丹波市学校備品管理に関する規程、学校図書館法							
事業期間	開始年度	16	年度	～	終了年度	無期	年度	

対象(誰を、何を)	小学校・中学校に就学する児童・生徒				
実施目的 ベストな状態(期待される効果)	児童・生徒が充実した教育を受けられる。				
事業の概要 (具体的手段・全体計画)	・教材用消耗品・備品・学校図書の購入 ・教科書の無償給与・教師用教科書及び指導書の購入 ・中学校クラブ活動の選手派遣費				
各年度の事業概略	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	教材用消耗品・備品・学校図書の購入 教科書の無償給与・教師用教科書及び指導書の購入 中学校クラブ活動の選手派遣費	教材用消耗品・備品・学校図書の購入 教科書の無償給与・教師用教科書及び指導書の購入 中学校クラブ活動の選手派遣費	教材用消耗品・備品・学校図書の購入 教科書の無償給与・教師用教科書及び指導書の購入 中学校クラブ活動の選手派遣費	教材用消耗品・備品・学校図書の購入 教科書の無償給与・教師用教科書及び指導書の購入 中学校クラブ活動の選手派遣費	教材用消耗品・備品・学校図書の購入 教科書の無償給与・教師用教科書及び指導書の購入 中学校クラブ活動の選手派遣費
令和元年度事業及び積算内容	・教師用教科書及び指導書の購入 206千円 ・学校図書の購入 6,190千円 ・教材備品の購入 6,864千円 ・中学校クラブ活動選手派遣、通送料及びバス代 35,719千円				
コスト(千円)	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額
総事業費A+C+E	146,389	122,780	111,158	102,608	98,446
直接事業費A	141,349	117,740	107,054	98,504	94,921
職員従事者数(人・年)B	0.63	0.63	0.54	0.54	0.47
人件費C=B×7,500千円	5,040	5,040	4,104	4,104	3,525
非常勤職員従事者数(人・年)D	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費E=D×2,000千円	0	0	0	0	0
特定財源	490	7,880	7,465	5,616	0
国・県支出金	0	0	0	0	0
借入金(地方債)	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他特財	490	7,880	7,465	5,616	0
一般財源	145,899	114,900	103,693	96,992	98,446

目標達成状況	指標名		単位	説明・算定式	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標	R1目標
					H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績
	成果	教育用PC1台当たりの児童数	人	児童数(5/1現在)/パソコン台数	3.6	3.6	3.6	4.0	4.0
					4.9	4.8	4.7	4.7	
	成果	図書標準充足率75%を超える学校(小学校)	校	学校図書館図書標準の定める冊数/学校図書館図書の冊数(年度末)が75%以上の小学校	25.0	25.0	22.0	22.0	22.0
					24.0	24.0	21.0	20.0	
	成果	教育用PC1台当たりの生徒数	人	生徒数(5/1現在)/パソコン台数	3.6	3.6	3.6	4.0	4.0
					6.0	5.8	5.6	5.2	
	成果	図書標準充足率75%を超える学校(中学校)	校	学校図書館図書標準の定める冊数/学校図書館図書の冊数(年度末)が75%以上の中学校	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0
					7.0	7.0	7.0	7.0	

令和元年度総合計画実施計画表

1. 基本情報									
事務事業名	小学校管理事業						事業No.		
事業担当課	教育部 学事課			所属長	前川 孝之	担当者	服部 昇	小玉 文奈	
事業区分	実施計画区分	該当	予算 小事業 名	小学校管理事業					
	新規・継続・臨時区分	継続							
	会計区分	一般							
総合計画の位置づけ	まちづくり目標	①	【5】ふるさとに愛着と誇りをもった人づくりのまち						
		②							
	施策目標	①	5-1【学校・教育】学校・家庭・地域が一体となりふるさとに愛着を持った子どもを育てよう						
		②							
	施策の展開	①	②安心して学べる楽しい学校づくり			②			
		①				②			
根拠法令・個別計画等	学校教育法、学校保健法、丹波市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則、丹波市学校備品管理に関する規程、丹波市遠距離通学補助金等交付規則								
事業期間	開始年度	16	年度	～	終了年度	無期	年度		

2. 事業の概要					
対象(誰を、何を)	丹波市内の小学校に通う児童、学校施設				
実施目的 ベストな状態(期待される効果)	児童が安心して教育を受けられるような環境を整備する。				
事業の概要 (具体的手段・全体計画)	・学校修繕、工事 ・空調設備整備工事 ・トイレの洋式化 ・委託(校務員業務、EV保守業務、消防設備点検、学校施設に関する維持管理、電気設備点検、遊具点検、施設設備、測量、設計等) ・学齢簿の整備、就学事務 ・学校管理備品購入事務 ・木製机・いすの維持管理 ・遠隔地通学経費の軽減				
各年度の事業概略	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	学校営繕、備品修繕 学校管理関連各種委託業務 学齢簿の整備、就学事務 学校管理備品購入 木製机・いすの維持管理 遠隔地通学経費の軽減	学校営繕、備品修繕 学校管理関連各種委託業務 学齢簿の整備、就学事務 学校管理備品購入 木製机・いすの維持管理 遠隔地通学経費の軽減 青垣小学校統合準備	学校営繕、備品修繕 学校管理関連各種委託業務 学齢簿の整備、就学事務 学校管理備品購入 木製机・いすの維持管理 遠隔地通学経費の軽減	学校営繕、備品修繕 学校管理関連各種委託業務 学齢簿の整備、就学事務 学校管理備品購入 木製机・いすの維持管理 遠隔地通学経費の軽減 空調設備整備工事設計業務	学校営繕、備品修繕 学校管理関連各種委託業務 学齢簿の整備、就学事務 学校管理備品購入 木製机・いすの維持管理 遠隔地通学経費の軽減 空調設備整備工事
令和元年度事業及び積算内容	・学校修繕、工事 ・空調設備整備工事 ・トイレの洋式化 ・委託(校務員業務、EV保守業務、消防設備点検、学校施設に関する維持管理、電気設備点検、遊具点検、施設設備、測量、設計等) ・学齢簿の整備、就学事務・学校管理備品購入事務 ・木製机・いすの維持管理 ・遠隔地通学経費の軽減				
コスト(千円)	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額
総事業費A+C+E	389,761	467,367	372,892	417,876	358,148
直接事業費A	298,961	367,147	278,000	322,984	349,598
職員従事者数(人・年)B	1.73	1.73	1.12	1.12	1.14
人件費C=B×7,500千円	13,840	13,840	8,512	8,512	8,550
非常勤職員従事者数(人・年)D	38.48	43.19	43.19	43.19	0.00
人件費E=D×2,000千円	76,960	86,380	86,380	86,380	0
特定財源	5,732	20,748	1,680	7,000	84,621
国・県支出金	0	3,400	0	0	0
借入金(地方債)	0	8,000	0	0	53,200
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他特財	5,732	9,348	1,680	7,000	31,421
一般財源	384,029	446,619	371,212	410,876	273,527

3. 指標等の進捗管理									
目標達成状況	指標名		単位	説明・算定式	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標	R1目標
					H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績
	成果	学校施設修繕件数	件	教育委員会実施分・各小学校実施分合計数	600	600	600	600	600
					547	604	444	360	
	成果	遊具及び学校設備による事故数	件	遊具及び学校設備による事故数	0	0	0	0	0
					0	0	0	0	

令和元年度

総合計画実施計画表

1. 基本情報									
事務事業名		中学校管理事業						事業No.	
事業担当課		教育部 学事課			所属長	前川 孝之	担当者	服部昇 小玉 文奈	
事業区分		実施計画区分	該当	予算 小事業 名	中学校管理事業				
		新規・継続・臨時区分	継続						
		会計区分	一般						
総合計画の位置づけ		まちづくり目標	①	【5】ふるさとに愛着と誇りをもった人づくりのまち					
			②						
		施策目標	①	5-1【学校・教育】学校・家庭・地域が一体となりふるさとに愛着を持った子どもを育てよう					
			②						
		施策の展開	①	②安心して学べる楽しい学校づくり			②		
			①				②		
根拠法令・個別計画等		学校教育法、学校保健法、丹波市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則、丹波市学校備品管理に関する規程、丹波市遠距離通学補助金等交付規則							
事業期間		開始年度	16	年度	～	終了年度	無期	年度	

2. 事業の概要					
対象(誰を、何を)	中学校に就学する生徒、学校施設				
実施目的 ベストな状態(期待される効果)	生徒が安心して教育を受けられるような環境を整備する。				
事業の概要 (具体的手段・全体計画)	・学校営繕、備品修繕 ・委託(校務員業務、EV保守業務、消防設備点検、電気設備点検、遊具点検、施設警備等) ・学齢簿の整備、就学事務 ・学校管理備品購入事務 ・遠隔地通学経費の軽減				
各年度の事業概略	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	学校営繕、備品修繕 学校管理関連各種委託業務 学齢簿の整備、就学事務 学校管理備品購入事務 遠隔地通学経費の軽減	学校営繕、備品修繕 学校管理関連各種委託業務 学齢簿の整備、就学事務 学校管理備品購入事務 遠隔地通学経費の軽減	学校営繕、備品修繕 学校管理関連各種委託業務 学齢簿の整備、就学事務 学校管理備品購入事務 遠隔地通学経費の軽減 空調設備整備工事	学校営繕、備品修繕 学校管理関連各種委託業務 学齢簿の整備、就学事務 学校管理備品購入事務 遠隔地通学経費の軽減	学校営繕、備品修繕 学校管理関連各種委託業務 学齢簿の整備、就学事務 学校管理備品購入事務 遠隔地通学経費の軽減
令和元年度事業及び積算内容	・学校営繕、備品修繕 ・委託(校務員業務、EV保守業務、消防設備点検、電気設備点検、遊具点検、施設警備等) ・学齢簿の整備、就学事務 ・学校管理備品購入事務 ・遠隔地通学経費の軽減				
コスト(千円)	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額
総事業費A+C+E	165,437	154,380	150,511	463,471	128,263
直接事業費A	131,777	115,780	115,019	427,979	122,113
職員従事者数(人・年)B	1.12	1.12	0.77	0.77	0.82
人件費C=B×7,500千円	8,960	8,960	5,852	5,852	6,150
非常勤職員従事者数(人・年)D	12.35	14.82	14.82	14.82	0.00
人件費E=D×2,000千円	24,700	29,640	29,640	29,640	0
特定財源	1,138	528	844	305,663	12,596
国・県支出金	0	0	0	71,598	0
借入金(地方債)	0	0	0	230,200	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他特財	1,138	528	844	3,865	12,596
一般財源	164,299	153,852	149,667	157,808	115,667

3. 指標等の進捗管理								
目標達成状況	指標名		単位	説明・算定式	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標
					H27実績	H28実績	H29実績	H30実績
	活動	学校施設修繕件数	件	教育委員会実施分・各中学校実施分合計数	250.0	190.0	190.0	176.0
					240.0	195.0	225.0	188.0
	成果	遊具及び学校設備による事故数	件	遊具及び学校設備による事故数	0.0	0.0	0.0	0.0
					0.0	0.0	0.0	0.0

総合計画実施計画表

事務事業名	特別支援教育就学奨励事業							事業No.	
事業担当課	教育部 学事課			所属長	前川 孝之	担当者	服部 昇	酒井 麻世	
事業区分	実施計画区分		該当	予算 小事業 名	特別支援教育就学奨励事業(小学校)				
	新規・継続・臨時区分		継続		特別支援教育就学奨励事業(中学校)				
	会計区分		一般						
総合計画の位置づけ	まちづくり目標		①	【5】ふるさとに愛着と誇りをもった人づくりのまち					
			②	【1】みんなで支え育む生涯健康のまち					
	施策目標		①	5-1【学校・教育】学校・家庭・地域が一体となりふるさとに愛着を持った子どもを育てよう					
			②						
	施策の展開		①	②安心して学べる楽しい学校づくり		②			
			①	④子どもの成長と学びの連続性を踏まえた教育の推進		②			
根拠法令・個別計画等	特別支援学校への就学奨励に関する法律								
事業期間	開始年度	16	年度	～	終了年度	無期	年度		

対象(誰を、何を)	丹波市立小中学校に在籍し、特別支援学級に在籍する、又は学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する児童生徒の保護者(所得基準あり)				
実施目的 (ベストな状態(期待される効果))	障害のある児童生徒への就学の特殊事情に鑑み、その就学に係る保護者等の経済的負担を軽減し、特別支援教育の普及奨励を図ることを目的とする。				
事業の概要 (具体的手段・全体計画)	特別支援教育就学奨励費の給付 【給付費目】給食費(実費の半額)、修学旅行費(実費の限度内)、校外活動費(実費の額限度内)、学用品購入費(定額)、新入学児童生徒学用品費等(定額)、通学用品費(定額)、通学費(実費)				
各年度の事業概略	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	特別支援教育就学奨励費の給付	特別支援教育就学奨励費の給付	特別支援教育就学奨励費の給付	特別支援教育就学奨励費の給付	特別支援教育就学奨励費の給付
令和元年度事業及び積算内容	特別支援教育就学奨励費の給付				
コスト(千円)	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額
総事業費A+C+E	9,501	10,172	10,140	10,132	9,513
直接事業費A	7,501	8,172	8,468	8,536	8,538
職員従事者数(人・年)B	0.25	0.25	0.22	0.21	0.13
人件費C=B×7,500千円	2,000	2,000	1,672	1,596	975
非常勤職員従事者数(人・年)D	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費E=D×2,000千円	0	0	0	0	0
特定財源	1,687	1,838	1,904	1,920	1,920
国・県支出金	1,687	1,838	1,904	1,920	1,920
借入金(地方債)	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他特財	0	0	0	0	0
一般財源	7,814	8,334	8,236	8,212	7,593

目標達成状況	指標名		単位	説明・算定式	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標	R1目標
					H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績
	成果	認定者数	人	認定者数	105.0	105.0	105.0	130.0	130.0
					113.0	116.0	131.0	132.0	
	活動	特別支援就学奨励費給付額(合計)	千円	特別支援就学奨励費給付額(合計)	7501.0	8172.0	8000.0	8000.0	8000.0
					4078.0	4045.0	4608.0	5158.0	

令和元年度総合計画実施計画表

事務事業名	要保護及び準要保護児童生徒援助事業							事業No.	
事業担当課	教育部 学事課			所属長	前川 孝之	担当者	服部 昇	酒井 麻世	
事業区分	実施計画区分	該当	予算 小事業 名	要保護及び準要保護児童生徒援助事業(小学校費)					
	新規・継続・臨時区分	継続		要保護及び準要保護児童生徒援助事業(中学校費)					
	会計区分	一般							
総合計画の位置づけ	まちづくり目標	①	【5】ふるさとに愛着と誇りをもった人づくりのまち						
		②							
	施策目標	①	5-1【学校・教育】学校・家庭・地域が一体となりふるさとに愛着を持った子どもを育てよう						
		②							
	施策の展開	①	②安心して学べる楽しい学校づくり	②					
		①	④子どもの成長と学びの連続性を踏まえた教育の推進	②					
根拠法令・個別計画等	学校教育法第25条及び第40条、丹波市要保護及び準要保護児童生徒就学援助要綱								
事業期間	開始年度	16	年度	～	終了年度	無期	年度		

対象(誰を、何を)	丹波市内に住民票を有し、認定要件に該当する申請保護者				
実施目的 ベストな状態(期待される効果)	経済的理由によって就学が困難と認められる児童及び生徒の保護者に対して必要な援助を与えることとし、義務教育の円滑な実施に資することを目的とする。				
事業の概要 (具体的手段・全体計画)	就学援助費の給付 【給付費目】 ・準要保護家庭：給食費(実費の半額)、修学旅行費(実費)、校外活動費(定額限度内)学用品購入費(定額)、新入学児童生徒学用品費等(定額)、通学用品費(定額)、交通安全対策費(定額) ・要保護家庭：修学旅行費(実費)、医療費(実費)、交通安全対策費(定額)				
各年度の事業概略	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	就学援助費の給付	就学援助費の給付	就学援助費の給付	就学援助費の給付	就学援助費の給付
令和元年度事業及び積算内容	就学援助費の給付				
コスト(千円)	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額
総事業費A+C+E	46,997	47,785	45,800	45,409	51,279
直接事業費A	41,797	42,585	42,000	41,609	47,754
職員従事者数(人・年)B	0.65	0.65	0.50	0.50	0.47
人件費C=B×7,500千円	5,200	5,200	3,800	3,800	3,525
非常勤職員従事者数(人・年)D	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費E=D×2,000千円	0	0	0	0	0
特定財源	99	56	50	84	0
国・県支出金	99	56	50	84	0
借入金(地方債)	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他特財	0	0	0	0	0
一般財源	46,898	47,729	45,750	45,325	51,279

目標達成状況	指標名		単位	説明・算定式	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標	R1目標
					H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績
	成果	給付者数(要保護)	人	認定給付者数(途中取消含む)	13	11	12	10	2
					11	12	10	3	
	成果	給付者数(準要保護)	人	認定給付者数(途中取消含む)	650	650	650	650	650
					691	674	610	603	
	成果	就学援助費給付額(合計)	千円	就学援助費給付額(合計)	－	42,585	42,000	42,000	42,000
					36,762	36,241	35,294	37,588	
	成果	医療券交付枚数における利用数割合	%	3月末実績 使用枚数÷交付枚数	－	90.0	90.0	90.0	90.0
					43.4	0.0	0.0	0.0	

令和元年度総合計画実施計画表

1. 基本情報									
事務事業名		奨学金給付事業					事業No.		
事業担当課		教育部 学事課		所属長	前川 孝之	担当者	服部 昇		石田 祐太
事業区分		実施計画区分	該当	予算 小事業 名	学校教育総務事業				
		新規・継続・臨時区分	継続						
		会計区分	一般						
総合計画の位置づけ		まちづくり目標	①	【5】ふるさとに愛着と誇りをもった人づくりのまち					
			②						
		施策目標	①	5-1【学校・教育】学校・家庭・地域が一体となりふるさとに愛着を持った子どもを育てよう					
			②						
		施策の展開	①	④子どもの成長と学びの連続性を踏まえた教育の推進			②		
			①				②		
根拠法令・個別計画等		丹波市奨学金給付条例、丹波市連携型中高一貫教育高校バス通学費補助金交付要綱、丹波市小・中学生、高校生全国大会出場激励金支給要綱							
事業期間		開始年度	16	年度	～	終了年度	無期	年度	

2. 事業の概要					
対象(誰を、何を)	経済的な理由によって修学が困難な市内に居住する高等学校又は高等専門学校の在学者				
実施目的 (ベストな状態(期待される効果))	学習能力を有するにも関わらず、経済的理由等により修学困難な者に対し、修学上必要とする資金の一部を奨学金として給付することにより、等しく高等教育を受ける機会を与え、将来社会に貢献し得る人材を育成することを目的とする。				
事業の概要 (具体的手段・全体計画)	・申請書受付、添付書類審査 ・選考委員会による選考、決定 ・決定通知送付 ・給付事務 ・異動に伴う事務 ・各種負担金及び補助金(連携型中高一貫教育高校バス通学費補助金・小中学生高校生全国大会出場激励金)				
各年度の事業概略	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	奨学金給付	奨学金給付	奨学金給付	奨学金給付	奨学金給付
令和元年度事業 及び積算内容	奨学金給付 5,040千円 中高一貫教育高校バス通学補助 789千円 小中学生高校生全国大会出場激励金給付 500千円				
コスト(千円)	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額
総事業費A+C+E	10,358	10,238	10,664	8,941	7,389
直接事業費A	9,798	9,678	9,600	7,877	6,339
職員従事者数(人・年)B	0.07	0.07	0.14	0.14	0.14
人件費C=B×7,500千円	560	560	1,064	1,064	1,050
非常勤職員従事者数(人・年)D	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費E=D×2,000千円	0	0	0	0	0
特定財源	0	0	0	0	0
国・県支出金	0	0	0	0	0
借入金(地方債)	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他特財	0	0	0	0	0
一般財源	10,358	10,238	10,664	8,941	7,389

3. 指標等の進捗管理								
目標達成状況	指標名		単位	説明・算定式	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標
					H27実績	H28実績	H29実績	H30実績
	成果	申請者数	人	国公立、私立高等学校の全申請者数	120.0	120.0	120.0	120.0
					92.0	97.0	91.0	80.0
	成果	国公立、私立高等学校受給者数	人	国公立、私立高等学校受給者数	110.0	110.0	110.0	110.0
					70.0	70.0	45.0	50.0
	成果	中高一貫教育高校バス通学費補助金交付者数	人	中高一貫教育高校バス通学費補助金交付者数	－	13.0	13.0	13.0
					13.0	17.0	16.0	11.0
成果	小中学生高校生全国大会出場激励金給付件数	件	小中学生高校生全国大会出場激励金給付件数	－	20	20	20	20
					10	10	7	10